



写真1. ソンガールスホルムス通りキャンパス

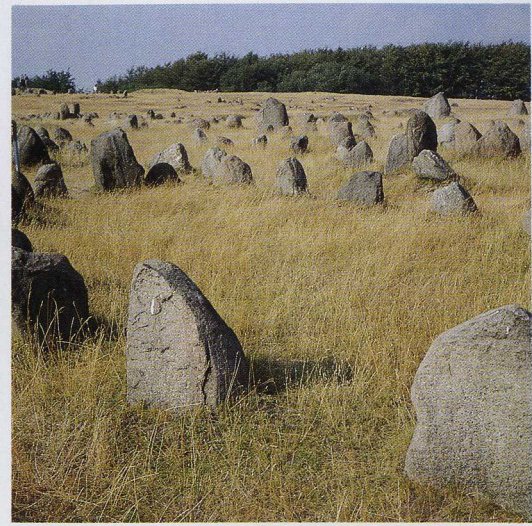


写真4. ヴァイキングの遺跡のあるリンドホルムの丘

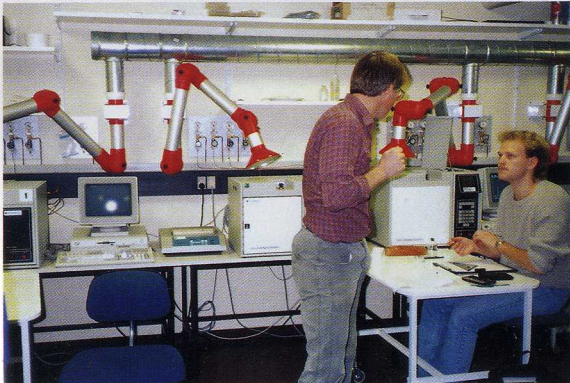


写真2. 機器分析室



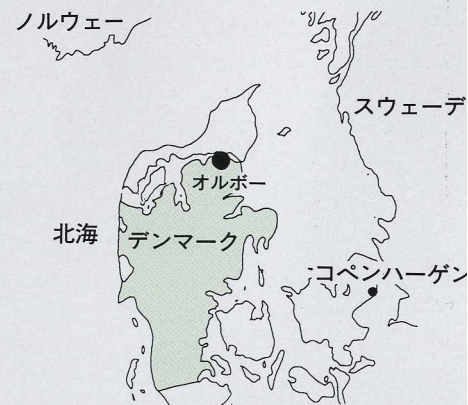
写真3. Stone House



オルボー大学で実験中の筆者

世界の大学 シリーズ 29

オルボー大学 デンマーク



アンデルセンの国デンマークの首都コペンハーゲンから飛行機で約30分。ユトランド半島の北部に位置するオルボー市は、人口17万人、デンマークでは4番目に大きい都市である。そのオルボー市にあるオルボー大学は、学生数1万人、教職員1,200人という規模で、理工学部、人文学部、社会科学部の3学部からなる。人口500万人のデンマークには6つの国立大学があるが、オルボー大学は3番目に大きい大学で、工学に関する修士、博士課程を持っているのはこの大学とコペンハーゲンにあるデンマーク工科大学のみである。ちなみにデンマークでは大学の学費はただであり、私立の大学はない。

オルボー大学へは共同研究のため、1990年以来ほぼ毎年のように訪問している。92-95年の間は「土壌内における揮発性有毒有機化合物と窒素の挙動解析」という研究テーマで、文部省の国際学術研究費の交付を受け、日本からの訪問のみでなく、オルボー大学から研究者を日本へ招へいし、共同研究の推進と情報交換を行ってきた。共同研究は地下水や土壌を汚染する物質の挙動解析に関するもので、飲料水の97%が地下水に依存しているこの国では、土壌・地下水汚染は非常に深刻な問題なのである。

オルボー大学は旧広島大学のように8つのキャンパスに分かれているが、これは市民に開かれた大学とするための方策とのことである。筆者が行くのは理工学部土木工学科環境工学研究室のあるキャンパス(写真1)である。

オルボーの下町には古いヨーロッパの街らしい雰囲気が残っており、写真3はヨーロッパ最古の石造建築といわれる Stone House である。また郊外には、石積みのヴァイキングの墓が散在するリンドホルムの丘がある(写真4)。オルボーは、1400年前にヴァイキングによって築かれた街なのである。

工学部地域環境工学講座 山口登志子(やまぐちとしこ)



よい子はマネしないこと

ヘール・ポップ彗星(表紙)

この写真は、3月8日の夜明けの東の空に現れた彗星を足摺岬で撮影したものです。

画面の右上から左下にかけては、天の川が流れています。日に日に位置を変えながら明るさを増す彗星を見ていると、宇宙の鼓動が直接伝わってきます。今年の4月から5月にかけては、西条やその周辺でも夕刻の北西の空にたやすく見つけられるでしょう。

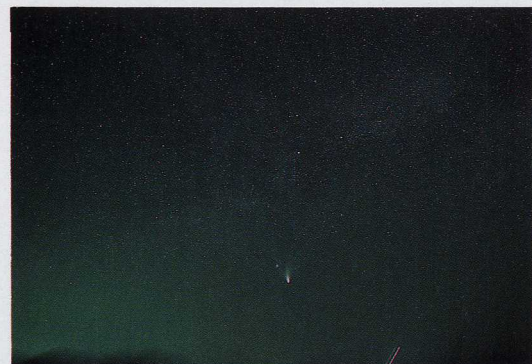
(経済学部学生：滝本勇紀)

撮影地：高知県大月町大堂海岸展望台

撮影日時：1997年3月8日午前5時

レンズ：24mm広角レンズ、絞りF4.8

フィルム：フジクロームプロビア400 自動ガイド撮影



(右下の光跡は星座を追尾した撮影のため地上の光が跡を描いた)